

地域における公共交通網形成

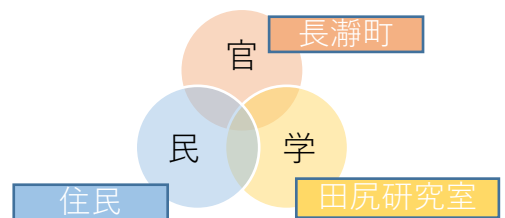
このテーマのキーワード	公共交通、民官学連携、意識調査、ワークショップ
関連するSDGs開発目標	  

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

【事業紹介】

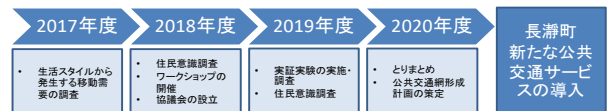
(社会背景・目的)

長瀬町では町内を運行しているコミュニティバス等の公共交通手段がなく、車の運転ができない高齢者などの交通弱者による移動手段が課題となっています。そこで住民が使いやすく持続可能な新たなコミュニティバスの導入を目的とし調査を行っています。



(概要)

2017年から4カ年計画で調査を行い、その中で住民の移動に対する意識調査や実証実験をもとに住民にとって必要な交通サービスの展開に向けての計画を行いました。また住民への説明会を複数回行い理解を深めてもらいました。



(期待される効果)

現在高齢化が進む長瀬町にとって運転ができない、あるいは運転に自信のない高齢者に対して普段の買い物や通院の手段を簡単なものにし、便利な住民の移動手段となる。



想定される適用分野・用途・業界

- 高齢化が進む地方への導入
- 高齢者ドライバーによる運転機会を抑えることによるリスクの軽減
- 交通、移動問題を課題とする自治体
- 地方公共団体

産業界へのアピールポイント

- 交通弱者に対しての生活手段の援助として地方自治体における導入検討

建設学科 田尻 要 教授

このテーマに関するお問合せ
E-mail : mric@iot.ac.jp

ものづくり研究情報センター
TEL : 048-564-3880

進化する技・深化する知
 **ものづくり大学**
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

地方都市における商店街の活性化

このテーマのキーワード	持続可能な商店街のあり方
関連するSDGs開発目標	  

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

【事業紹介】

(社会背景・目的)

羽生市では、従来からある商店街と大規模商業施設が存在するため、双方の共存を目指しながら、商店街の活用方策を検討します。

(概 要)

活用方策を検討するにあたり、アンケート調査やヒアリングで得たデータを分析し、住民と事業者の意見・意向を把握します。

(期待される効果)

得られたデータをもとにして活用方策を導き出すことが可能です。また、それらを実現することにより羽生商店街の活性化に繋がることが期待されます。



後継者問題

- ・若い世代が中心となって企画、開発等の色々なことができるようになってほしい
- ・若い人の教育が必要
- ・後継者の確保や新しい店舗の参入で、今の時代にそったアクションを起こしてほしい

空き店舗問題

- ・空き店舗のリノベーション
- ・他業種が軒を連ねる形に出来たらいいと思う
- ・大規模商業施設のように大型の建物を建て、その中に様々な商店がある通りにする

想定される適用分野・用途・業界

- 活性化を図ろうとしている商店街。
- 地方創生を掲げている地域。

産業界へのアピールポイント

- 商店街と大型商業施設の共存を目的とした調査や、住民や経営者の実態と願望の明確化により、課題発見や解決策の提案を行います。

建設学科 田尻 要 教授

このテーマに関するお問合せ
E-mail : mric@iot.ac.jp

ものづくり研究情報センター
TEL : 048-564-3880

進化する技・深化する知
 **ものづくり大学**
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

観光地の活性化

このテーマのキーワード	観光振興、SNS、ワークショップ、コロナ禍
関連するSDGs開発目標	  

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

【事例紹介】

(社会背景・目的)

長瀬町は県内有数の観光地としてにぎわっており、コロナに負けない観光地づくりに向け、様々な対策を行っています。一方でコロナによって生じた観光者の心理的評価の把握に課題が残されているため、それらを正確に汲み取り施策に反映させることを目的としたフィールド調査をしています。

(概要)

・季節ごとの調査

季節ごとの観光者の特性や観光地評価などを調査しました。

・SNSに関する調査

企業のSNS活用状況や効果、観光者のSNS投稿と実際の評価の関連性などを調査しました。

・コロナ禍での観光に関する調査

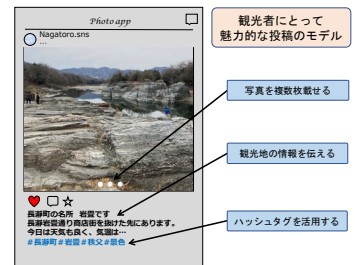
コロナ禍における観光地評価や観光者相互のマナーに対する評価などを調査しました。

・ワークショップ

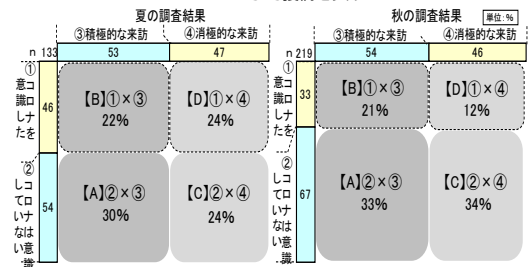
長瀬町住民と来訪者を招き、ギャップの把握と新たな観光資源や観光プランを模索しました。

(期待される効果)

観光者の満足度の向上や新たな観光スタイルの確立につながり、観光地の活性化が期待されます。



SNS投稿モデル



季節ごとの選択動機



ワークショップの様子

想定される適用分野・用途・業界

- 更なる観光者の獲得を図りたい観光地
- コロナ禍での観光産業の回復

産業界へのアピールポイント

- 観光地の活性化を目的とした調査を行って新たな観光スタイルを確立し、提案していきます。

建設学科 田尻 要 教授

このテーマに関するお問合せ
E-mail : mric@iot.ac.jp

ものづくり研究情報センター
TEL : 048-564-3880

進化する技・深化する知
 **ものづくり大学**
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

まちづくり教育プロジェクト

このテーマのキーワード	持続可能な地域のまちづくり担う次世代の人材育成教育プログラム
関連するSDGs開発目標	   

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

【事例紹介】巨瀬町

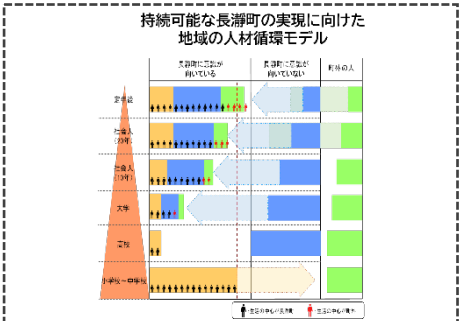
(社会背景・目的)

【背景】 少子高齢化、若年層の転出による人口の減少
住民主体のまちづくり活動の活性化が必要

【現状】 まちづくりに関する知識・経験が充分ではない
高校以上の進学は町外へ

【目的】教育から持続可能なまちづくりへ

- ①「まち」について考え行動・協力しあえるまちづくり
②町外の人巻き込んだまちづくり
③「生活の中心が町外」であっても、まちの活動に協力しあえる「長瀬町愛」の醸成

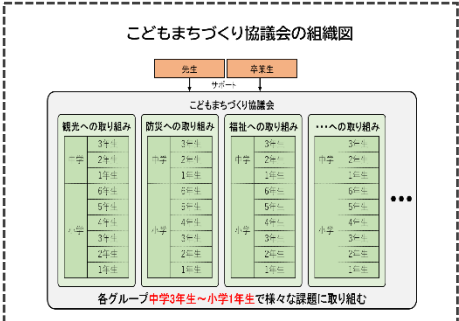


(概 要)

- ・まちづくり教育プログラムの作成
- ・こどもまちづくり協議会の設立

(期待される効果)

- ・まち活性化に向け積極的に活躍できる人材の確保・育成
- ・町外においても活性化に貢献できる地域貢献体制の構築
- ・「町外の人」を巻き込んだ定住化サイクルの土台形成



想定される適用分野・用途・業界

- 人口流出により衰退が懸念される地方都市
- 初等教育機関
- 地方公共団体

産業界へのアピールポイント

- 持続可能なまちづくりを担う次世代の
人材教育

建設学科 田尻 要 教授

このテーマに関するお問合せ ものづくり研究情報センター
E-mail : mrict@iot.ac.jp TEL : 048-564-3880

ものづくり研究情報センター
TEL : 048-564-3880



ものづくり大学
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

